

政策目標1 未来につなぐひとづくり/政策1 次代を創る子どもたちの育成

政策分野4 地域による子ども育成

| 目指す姿 | |
|------------------------------------|--|
| 地域全体で子どもたちを育み、子どもたちが社会的、精神的に成長するまち | |
| 施策 | |
| 施策番号 | 名称 施策の内容 |
| 施策1 | 子どもと子育て家庭を支える地域づくり      |
| | 地域社会の中で安心して子育てができ、一人ひとりの子どもたちが健やかに成長することができるよう、地域で子育てを支える意識づくりや交流機会の創出等を推進します。 |
| 施策2 | 青少年の健全育成    |
| | 會津藩校日新館の教えである「ならぬことはならぬ」に代表される会津の精神を踏まえて策定した「青少年の心を育てる市民行動プラン“あいづっこ宣言”」を青少年健全育成の柱とし、地域ぐるみで青少年を育みます。 |

1 政策分野の進捗状況

| 重要業績評価指標の達成状況 | | | | | | |
|---------------|--------------------------|-------|----------------|-------|--|---|
| 指標名 | | 単位 | | | 説明又は計算式 | |
| 1 | ファミリー・サポート・センター支援件数 | 件 | | | サポート支援件数 | |
| | 年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 最終目標 | 検証 |
| | 目標 | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 4,500 | 最終目標の達成に向けて、ひとり親家庭に加え、障がい児・多胎児のいる世帯に利用料の半額を助成することにより、さらなる支援件数の増加を図っていく。 |
| | 実績 | 4,267 | 5,000 (見込値) | — | | |
| 2 | 放課後子ども教室利用児童の割合 | % | | | 登録児童数/対象となる小学校の児童総数 | |
| | 年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 最終目標 | 検証 |
| | 目標 | 8.7 | 9.0 | 9.5 | 10.0 | 最終目標を上回って達成できている。今後も活動内容を充実させ、放課後子ども教室への参加を図っていく。 |
| | 実績 | 10.4 | — | — | | |
| 3 | 子ども（18歳）の会津図書館館外貸出登録者の割合 | % | | | 会津図書館における子どもの登録者数/市内の子ども数 | |
| | 年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 最終目標 | 検証 |
| | 目標 | 45.0 | 45.0 | 45.0 | 45.0 | 最終目標を上回って達成できている。今後も市子ども読書活動推進計画に基づき事業を進め、登録者の増加を図っていく。 |
| | 実績 | 53.7 | — | — | | |
| 4 | 少年非行の割合（1,000人当たり） | | | | 会津若松市刑法犯少年検挙・補導数 ÷ 少年人口（6才～19才）× 1,000 | |
| | 年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 最終目標 | 検証 |
| | 目標 | 2.1 | 2.0 | 1.9 | 1.8 | 現時点の目標を達成できている。最終目標に向け基本的な規範意識の醸成や補導活動を継続し、青少年の健全育成に取り組んでいく。 |
| | 実績 | 2.1 | — | — | | |

2 施策の評価

| 施策1 | 子どもと子育て家庭を支える地域づくり |
|----------------|--|
| 今年度の重点方針(方向性) | <p>地域社会の中で安心して子育てができ、一人ひとりの子どもたちが健やかに成長することができるよう、地域で子育てを支える意識づくりや交流機会の創出等を推進する。</p> |
| 取組状況 | <p>【1】地域での子育て支援 ・ファミリー・サポート・センター事業において、サポート提供会員を増加させる取組等により、市民全体で子どもと子育て家庭を支える意識づくりに努めてきた。 ・市民ニーズの高まりや共働き世帯の要望を踏まえ、ひとり親家庭等に対する利用料の半額助成の実施のほか、土日に会員登録のための説明会やサポートを依頼したい会員と実際にサポートをする会員のマッチングを行うなどの取組も行ってきた。</p> <p>【2】地域子育て支援センターの充実 ・平成27年度からの新制度により地域子ども・子育て支援事業へ位置づけられ、保育所及び幼保連携型認定こども園等で実施した(令和6年度4月現在29か所)。 ・令和2年度から、感染拡大防止対策用の備品等購入及び相談支援に必要なICT機器の導入経費に対する補助金を交付した。</p> <p>【3】地域学校協働本部事業(地域学校協働活動・放課後子ども教室)の推進 ・地域学校協働活動については、学校の教育活動を地域住民が支援する活動を平成23年度から開始し、令和3年度からは、全ての小・中・義務教育学校に地域学校協働活動推進員(コーディネーター)を配置し、全地域において実施した。 ・令和6年度現在、7地区において、地域学校協働本部を設置している。 ・放課後子ども教室は、平成19年度より、6公民館で取組を開始し、令和3年度まで全公民館で実施している。現在は、11か所で校内交流型の運営を行っている。</p> <p>【4】子ども読書活動の推進 ・平成22年度に「第一次市子ども読書活動推進計画」を策定し、現在、「第三次計画」まで、家庭・学校・地域と連携し、年齢に応じた子どもたちの読書環境の整備及び読書活動を推進している。 ・小学生対象の「会津図書館を使った調べる学習コンクール」では、子どもたち自らが主体的に学ぶ意欲の醸成や情報活用能力の養成を、また、中高生対象の「会津ビブリオバトル(知的書評合戦)」では、読書活動の充実と論理的思考力・表現力・プレゼンテーション能力の向上を図っている。 ・健康福祉部との連携、読み聞かせボランティアの協働により、平成28年度からブックスタート事業を開始し、4か月児の保護者に絵本のもつ力や読み聞かせの大切さを伝えてきた。 ・児童書の充実を図るとともに、読み聞かせなどのイベントを実施したり、こども園や小学校の見学を受け入れるなど、親子の来館者数の増加につなげている。</p> |
| 課題認識と今後の方針・改善点 | <p>【1】地域で子どもが健やかに成長できる支援体制の強化 ・市民ニーズの多いファミリー・サポート・センター事業については、依頼したい会員は増加傾向にあるが、サポートを提供できる会員は限られていることから、子育てを終えた依頼会員等が提供会員として登録する取組や事業の周知を継続することにより体制強化を図りながら、地域での子育て支援の充実を進めていく。 ・就労形態等の多様化に対応し、会員登録やマッチング等の休日対応や、事務所への来所が困難な場合に家庭訪問等するなど、利用者の利便性を向上させていく。</p> <p>【2】地域子育て支援センターの充実 ・令和7年度からの重層的支援体制整備事業の開始に伴い、市内全ての拠点において、地域支援の取組を実施することになるため、取組内容の周知や関係機関との連携について検討が必要である。 ・今後も利用者のニーズや利用状況を踏まえ、子育て世帯の利用を促進するため、子育て支援センターの周知を図りながら、事業を実施していく。</p> <p>【3】地域学校協働本部事業(地域学校協働活動・放課後子ども教室)の推進 ・小・中・義務教育学校に学校運営協議会(コミュニティスクール)が設置されたことから、地域学校協働活動推進員(コーディネーター)等がその委員となり、学校運営に係る支援を協議して活動を推進する。 ・地域学校協働本部と学校運営協議会(コミュニティスクール)が一体となって機能することが求められており、活動の様子を周知、広報し、地域の中で子どもを育む取組として、多くの方々に主体的に参画いただけるよう、地域学校協働本部事業の体制の充実を図っていく。</p> <p>【4】子ども読書活動の推進 ・ボランティア育成や読み聞かせ講座による学習する機会と情報提供を行うとともに、事業活動の場の確保と継続に努めていく。 ・障がいや日本語以外を母国語とするなど、支援を必要とする子どもたちに対して、本への興味・関心を引き出し、読書習慣が定着するよう、家庭や学校等での子どもの読書活動を推進していく。 ・引き続き、「第三次市子ども読書推進計画」に基づき、子どもの読書活動の推進及び図書館事業の充実を図るとともに、次期計画にかかるアンケート調査を行い、策定の準備を進めていく。</p> |

| 施策2 | 青少年の健全育成 |
|----------------|--|
| 今年度の重点方針(方向性) | <p>會津藩校日新館の教えである「ならぬことはならぬ」に代表される会津の精神を踏まえて策定した「青少年の心を育てる市民行動プラン“あいづっこ宣言”」を青少年健全育成の柱とし、地域ぐるみで青少年を育てていく。</p> |
| 取組状況 | <p>【1】青少年の心を育てる市民行動プラン事業 “あいづっこ宣言”という共通のテーマ設定により、家庭、学校、地域、企業及び青少年育成に関する団体が、連携して青少年問題に取り組みやすくなったことから、地区の実情に応じた様々な活動をそれぞれ主体的に実施している。また、大人への普及促進を重点的に図るため、民間企業への普及啓発事業に取り組むとともに（平成24年度～）、若い世代に向けて作成したリーフレットの有効活用など、未来を担う青少年の育成に効果的な事業を社会全体で展開している。</p> <p>【2】少年の非行防止 少年センター補導員による街頭補導活動や各地区補導等のほか、郊外型大型店等の巡回を行う公用車による「あいづっこ青色パトロール」を実施してきた。市の情報配信メール「あいべあ」を活用した不審者情報等の速やかな情報配信や、補導員向けの研修会を実施し補導員の意識や資質の向上にも取り組んだ。</p> <p>【3】青少年健全育成事業 「青少年育成市民会議」や「子ども会育成会」等の青少年関係団体の活性化を図りながら青少年の健全育成を推進している。 自主性や自立性を持った心豊かな子どもを育成するため、市子ども会育成会連絡協議会との連携により、中高生のジュニアリーダーを育成（平成26年度～）している。</p> |
| 課題認識と今後の方針・改善点 | <p>【1】青少年の心を育てる市民行動プラン事業 青少年の心を育てる市民行動プラン“あいづっこ宣言”の大人へのより一層の普及促進が課題となっていることから、引き続き民間企業へ協力を依頼し普及啓発を進めるとともに、宣言の紹介動画等の有効活用を図りながら、宣言に込められた内容の更なる理解促進と宣言の実践化を図っていく。</p> <p>【2】少年の非行防止 生活安全白書（会津若松警察署）による本市の少年補導の状況については、検挙・補導人数は令和4年に増加したものの、令和5年は減少に転じた。少年たちの問題行動の特徴として、検挙された罪種としては万引きが最も多く、犯罪の低年齢化も問題となっている。また、令和5年に補導された不良行為として、最も多かったのは喫煙であった。これら非行を防止するため、関係機関との連携を基盤として、地域に密着した補導活動を行っていく。また、犯罪発生の多い地域・時間帯に合わせた『あいづっこ青色パトロール』での見せる補導や「あいべあ」での補導員への情報提供、研修会の開催により補導活動の充実を図り、少年非行と犯罪被害を未然に防ぐ抑止力としての取り組みを継続していく。</p> <p>【3】青少年健全育成事業 青少年を取り巻く環境が一層複雑・多様化する中であって、青少年の健全育成には家庭、学校、地域等の連携した取組が不可欠であることから、今後も青少年関係団体などと連携し、地域全体で青少年の健全育成を推進する。 子ども会育成会連絡協議会との連携を図り、より魅力ある事業の実施と効果的な周知方法を検討するなど、子ども会加入者の確保と育成会等の組織の活性化を図り、自主的な活動の支援を継続していく。</p> |

3 関連する政策分野と事務事業

| 政策分野 | 事務事業名 | 担当部・課名 |
|------|-----------------|--------------|
| 1-2 | ホームスタート事業 | 健康福祉部・こども家庭課 |
| 1-3 | 児童健全育成事業 | 健康福祉部・こども保育課 |
| 1-4 | 子ども未来基金事業 | 健康福祉部・こども家庭課 |
| 2-1 | コミュニティ・スクール推進事業 | 教育委員会 学校教育課 |
| 25-1 | 防犯推進事業 | 市民部 危機管理課 |

4 施策の最終評価

- ・政策分野4「地域による子ども育成」の推進にあたっては、「2 施策の評価」に従い取り組むこと。
- ・施策1「子どもと子育て家庭を支える地域づくり」については、利用ニーズの多いファミリー・サポート・センター事業において、サポートする会員の増加を図る取組や、利用者の多様な家庭環境に配慮し、利便性の向上を図っていく。また、令和7年度からの重層的支援体制整備事業の開始に伴い、市内全ての拠点において、地域支援の取組を実施することになるため、取組内容の周知や関係機関と連携しながら、地域で子育てを支える意識づくりや交流機会の創出等を進めていく。
- ・施策2「青少年の健全育成」については、関係機関との連携を図りながら地域に密着した補導活動により、非行防止に努めていく。また、『あいづっこ青色パトロール』での見せる補導や「あいべあ」による補導員への情報提供、研修会の開催など補導活動の充実を図り、少年非行と犯罪被害を未然に防ぐ抑止力としての取り組みを継続していく。

5 事務事業一覧

| 番号 | ロジックモデル | 重点事業 | 人口減少対策※ | SDGsターゲット | 事務事業名 | 次年度方針 | 担当部・課 |
|-------------------------------|---------|------|---------|-----------|---------------------|-------|------------------|
| 施策1 子どもと子育て家庭を支える地域づくり | | | | | | | |
| 1 | | ◎ | 基本目標4 | 3.8 | ファミリー・サポート・センター事業 | 継続 | 健康福祉部 子ども家庭課 |
| 2 | | ◎ | 基本目標4 | 4.2 | 地域子育て支援拠点事業 | 継続 | 健康福祉部 子ども保育課 |
| 3 | | | 基本目標4 | 4.2 | 中央保育所子育て支援センター事業 | 継続 | 健康福祉部 子ども保育課 |
| 4 | | | 基本目標4 | 4.2 | 広田保育所子育て支援センター事業 | 継続 | 健康福祉部 子ども保育課 |
| 5 | | ◎ | 基本目標4 | 4.1 | 地域学校協働本部事業 | 継続 | 教育委員会 生涯学習総合センター |
| 6 | | ◎ | 基本目標4 | 4.1 | 中央公民館神指分館地域学校協働本部事業 | 継続 | 教育委員会 生涯学習総合センター |
| 7 | | ◎ | 基本目標4 | 4.1 | 北公民館地域学校協働本部事業 | 継続 | 教育委員会 北公民館 |
| 8 | | ◎ | 基本目標4 | 4.1 | 南公民館地域学校協働本部事業 | 継続 | 教育委員会 南公民館 |
| 9 | | ◎ | 基本目標4 | 4.1 | 大戸公民館地域学校協働本部事業 | 継続 | 教育委員会 大戸公民館 |
| 10 | | ◎ | 基本目標4 | 4.1 | 一箕公民館地域学校協働本部事業 | 継続 | 教育委員会 一箕公民館 |
| 11 | | ◎ | 基本目標4 | 4.1 | 東公民館地域学校協働本部事業 | 継続 | 教育委員会 東公民館 |
| 12 | | ◎ | 基本目標4 | 4.1 | 湊公民館地域学校協働本部事業 | 継続 | 教育委員会 湊公民館 |
| 13 | | ◎ | 基本目標4 | 4.1 | 北会津公民館地域学校協働本部事業 | 継続 | 教育委員会 北会津公民館 |
| 14 | | ◎ | 基本目標4 | 4.1 | 河東公民館地域学校協働本部事業 | 継続 | 教育委員会 河東公民館 |
| 15 | | ◎ | 基本目標4 | 4.1 | 子ども読書活動推進事業 | 継続 | 教育委員会 生涯学習総合センター |
| 施策2 青少年の健全育成 | | | | | | | |
| 1 | | ◎ | 基本目標4 | 4.7 | 青少年の心を育てる市民行動プラン事業費 | 継続 | 教育委員会 あいづっこ育成推進室 |
| 2 | | ◎ | 基本目標4 | 3.5 | 少年センター運営費 | 継続 | 教育委員会 あいづっこ育成推進室 |
| 3 | | ◎ | 基本目標4 | 4.7 | 青少年健全育成事業 | 継続 | 教育委員会 あいづっこ育成推進室 |
| 4 | | | | 4.7 | 成人祝賀事業費 | 継続 | 教育委員会 あいづっこ育成推進室 |
| 5 | | | | 4.7 | 少年の家維持管理経費 | 継続 | 教育委員会 あいづっこ育成推進室 |

※人口減少対策に資する事業を「第3期 会津若松市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標に位置付けた取組を記載しています。

- 基本目標1 既存産業・資源を活用した魅力的なしごとづくり
- 基本目標2 地域の個性を活かした新たな人の流れの創出
- 基本目標3 生活の利便性を実感できる安全・安心なまちづくり
- 基本目標4 結婚・出産・子育て支援と教育環境の整備

施策1 子どもと子育て家庭を支える地域づくり

| 施策1 子どもと子育て家庭を支える地域づくり | | | | | |
|-------------------------------|---|---|----------------|---------------|----------------|
| 1 | 事業名 | ファミリー・サポート・センター事業 | 法定／自主 | 法定 | |
| | 担当部・課 | 健康福祉部・こども家庭課 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 仕事と子育ての両立のための基盤を整備し、安心して子育てができる環境づくりを行うため、国で定めるファミリー・サポート・センター事業を実施する。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 11,625 | 11,715 |
| | | | 所要一般財源 | 4,292 | 4,048 |
| 概算人件費 | | | 546 | 546 | |
| これまでの取組状況 (主な取組と成果) | <ul style="list-style-type: none"> 平成17年度：市民組織「ファミリー・サポート・あいづ」により事業開始 平成22年度：病児・病後児預かりを開始 平成28年度：ひとり親家庭等に対し利用料の半額助成を開始 平成30年度：共働き世帯の要望を受け、土日祝日にも、会員登録のための事業説明会や依頼会員と提供会員のマッチングを開始 令和3年度：利用料半額助成対象に「障がい児・多胎児のいる世帯」を追加 | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・改善点) | <ul style="list-style-type: none"> サポートを依頼したい会員は増加傾向にあるが、実際にサポートを提供できる会員は限られているため、一人の会員が複数のサポートを行う傾向が見受けられる。そのため、提供会員の増加を図る必要がある。 依頼会員と提供会員のマッチングを土日も開催するなど、利用者の多様なニーズに柔軟に対応するとともに、子育てを終えた依頼会員等に対し、提供会員になっていただけよう継続して働きかけることにより体制強化を図る。 | | | | |
| 2 | 事業名 | 地域子育て支援拠点事業 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 健康福祉部・こども保育課 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 349,783 | 376,023 |
| | | | 所要一般財源 | 141,783 | 110,233 |
| 概算人件費 | | | 1,895 | 1,895 | |
| これまでの取組状況 (主な取組と成果) | <ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援事業の実施施設に対し、補助金を交付してきた。 令和6年度 保育所9施設、幼保連携型認定こども園19施設、地域型保育施設運営法人1施設（休日開所） | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・改善点) | <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度からの重層的支援体制整備事業の開始に伴い、市内全ての拠点において、地域支援の取組を実施することになるため、取組内容の周知や関係機関との連携について検討が必要である。 今後も利用者のニーズや利用状況を踏まえ、子育て世帯の利用を促進するため、子育て支援センターの周知を図りながら、事業を実施していく。 | | | | |
| 3 | 事業名 | 中央保育所子育て支援センター事業 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 健康福祉部・こども保育課 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 子育て家庭や妊娠期の母親の交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、子育ての不安感、負担感、孤立感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 316 | 316 |
| | | | 所要一般財源 | 316 | 316 |
| 概算人件費 | | | 10,581 | 10,581 | |
| これまでの取組状況 (主な取組と成果) | <ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭の交流の場の提供や、各種相談・支援のほか、地域の子育てに関する情報提供や講習等に加え、市内施設の子育て支援担当者の情報交換や研修会を開催した。 相談事業に関しては、電話相談、支援活動の場での相談に対応できるよう、子育て支援担当者のほか、看護師・栄養士の対応を充実させている。 | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・改善点) | <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援担当者の専門研修の受講等により、専門性の向上を図る。 父親や妊娠期の母親の利用を促進するため、それぞれの利用層が参加しやすい交流広場や講座を企画していく。また、ホームページや情報誌を活用し、新規利用者の拡大を図るとともに、インターネットでの予約サービスを実施していく。 広田保育所と連携し、公立の子育て支援センターとして、更なる機能の充実を図る。 | | | | |

| | | | | | |
|--------|-----------------------------------|---|----------------|---------------|----------------|
| 4 | 事業名 | 広田保育所子育て支援センター事業 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 健康福祉部・こども保育課 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 地域の子育て支援の拠点として、子育て中の親の不安感・孤立感を緩和するため、親子や子ども同士での交流の場、情報の提供を促進し、子育て支援機能の充実を図りながら子どもの健やかな育ちを支援する。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 223 | 223 |
| 所要一般財源 | | | 223 | 223 | |
| | | 概算人件費 | 10,044 | 10,044 | |
| | これまでの取組状況 (主な取組と成果) | ・平成28年度から子育て支援拠点事業を開始し、子育て親子の交流の場の提供等をしている。相談事業として、栄養士も参加しての栄養・発育・健康相談も実施している。 | | | |
| | 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | ・子育て支援担当者の専門研修の受講等により、専門性の向上を図る。 ・中央保育所と連携し、公立の子育て支援センターとして、更なる機能の充実を図る。 ・今後の河東地区幼保連携型認定こども園の整備・運営方針を踏まえ、支援活動の場を確保していく。 | | | |
| 5 | 事業名 | 地域学校協働本部事業 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会 生涯学習総合センター | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 地域と連携し、子どもたちの教育活動を支援する地域学校協働活動を推進して、放課後子ども教室を実施する。地域の方々との触れ合いや体験学習を通して、子どもたちが心豊かに健やかに育まれる環境づくりに取り組む。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 3,375 | 3,375 |
| 所要一般財源 | | | 0 | 0 | |
| | | 概算人件費 | 2,621 | 2,621 | |
| | これまでの取組状況 (主な取組と成果) | ・地域学校協働活動・・・「三中、四中学校区」R2～、「一中、二中学校区」R3～ ・放課後子ども教室・・・「あいづっ子1455」生涯学習総合センター H19～ 「城西っ子1455」城西小 H30～、「行仁っ子1455」行仁小 R3～ ・知識や経験の豊富なボランティアやコーディネーターなど、地域人材の活用が図られており、学校・家庭・地域を結ぶ学びの好循環が生まれている。 | | | |
| | 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | ・より多くの地域住民等の参画と事業継続に向けた取組が必要である。 ・地域の中で子どもを育む取組として活動の様子を広報し、主体的に参画頂ける人材の確保に努めていく。 ・コーディネーターと公民館職員、地域連携担当教員で情報共有を行い、学校ニーズと地域の思い等を反映しやすい体制づくりを行う。 | | | |
| 6 | 事業名 | 中央公民館神指分館地域学校協働本部事業 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会 生涯学習総合センター | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 地域と連携し、子どもたちの教育活動を支援する地域学校協働活動を推進して、放課後子ども教室を実施する。地域の方々との触れ合いや体験学習を通して、子どもたちが心豊かに健やかに育まれる環境づくりに取り組む。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 532 | 532 |
| 所要一般財源 | | | 0 | 0 | |
| | | 概算人件費 | 1,030 | 1,030 | |
| | これまでの取組状況 (主な取組と成果) | ・地域学校協働活動・・・「神指小学校区」R3～ 神指小の環境整備や学習支援等を行う、「ちよこボラ隊」を立ち上げ、活動をしている。 ・放課後子ども教室・・・「こうぎしっ子」H19～ R元～神指小の余裕教室を活用し、連携型の子ども教室を開設。 ・子どもたちと地域の方々との触れ合う機会を提供することができており、学校・家庭・地域を結ぶ学びの好循環が生まれている。 | | | |
| | 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | ・農村地帯の中に商業地と住宅地が混在しており、住民構成も一律でないため、地域性を考慮し、地区に合った形で事業を進めていく必要がある。 ・地域の中で子どもを育む取組として活動の様子を広く周知し、主体的に参画頂ける人材の確保に努めていく。 ・コーディネーターと公民館職員、地域連携担当教員で情報共有を行い、学校ニーズと地域の思い等を反映しやすい体制づくりを行う。 | | | |

| | | | | | |
|-----------------------------------|--|--|----------------|---------------|----------------|
| 7 | 事業名 | 北公民館地域学校協働本部事業 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会 北公民館 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 地域と連携し、子どもたちの教育活動を支援する地域学校協働活動を推進して、放課後子ども教室を実施する。地域の方々との触れ合いや体験学習を通して、子どもたちが心豊かに健やかに育まれる環境づくりに取り組む。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 1,014 | 1,014 |
| | | | 所要一般財源 | 0 | 0 |
| 概算人件費 | | | 3,411 | 3,411 | |
| これまでの取組状況 (主な取組と成果) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動・・・「第六中学校区」R3～ 永和小と第六中にコーディネーターを配置し、学習支援や環境整備を実施。 ・放課後子ども教室・・・「永和いなほキッズ」永和小 H19～ 地域住民や公民館利用団体の協力により体験活動等を実施。 ・主体的に学校を支援しようとボランティア活動に参加する方が増えており、学校・家庭・地域を結ぶ学びの好循環が生まれている。 | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの地域住民等の参画と、事業継続に向けた取組が必要である。 ・地域の中で子どもを育む取組として活動の様子を広く広報し、主体的に参画頂ける人材の確保に努めていく。 ・コーディネーターと公民館職員、地域連携担当教員で情報共有を行い、学校ニーズと地域の思い等を事業に反映しやすい体制づくりを行う。 | | | | |
| 8 | 事業名 | 南公民館地域学校協働本部事業 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会 南公民館 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 地域と連携し、子どもたちの教育活動を支援する地域学校協働活動を推進して、放課後子ども教室を実施する。地域の方々との触れ合いや体験学習を通して、子どもたちが心豊かに健やかに育まれる環境づくりに取り組む。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 1,024 | 1,024 |
| | | | 所要一般財源 | 0 | 0 |
| 概算人件費 | | | 2,274 | 2,274 | |
| これまでの取組状況 (主な取組と成果) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動・・・「第五中学校区」R3～ 門田小、城南小及び第五中にコーディネーターを配置し、学習支援や環境整備を実施。 ・放課後子ども教室・・・「南チャレンジキッズ」H19～ 地域住民や公民館利用団体の協力により体験活動等を実施。 ・主体的に学校を支援しようとボランティア活動に参加する方が増えており、学校、家庭、地域を結ぶ学びの好循環が生まれている。 | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの地域住民等の参画と、事業継続に向けた取組が必要である。 ・地域の中で子どもを育む取組として活動の様子を広く広報し、主体的に参画頂ける人材の確保に努めていく。 ・コーディネーターと公民館職員、地域連携担当教員で情報共有を行い、学校ニーズと地域の思い等を反映しやすい体制づくりを行う。 | | | | |
| 9 | 事業名 | 大戸公民館地域学校協働本部事業 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会 大戸公民館 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 地域と連携し、子どもたちの教育活動を支援する地域学校協働活動を推進して、放課後子ども教室を実施する。地域の方々との触れ合いや体験学習を通して、子どもたちが心豊かに健やかに育まれる環境づくりに取り組む。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 581 | 581 |
| | | | 所要一般財源 | 0 | 0 |
| 概算人件費 | | | 2,729 | 2,729 | |
| これまでの取組状況 (主な取組と成果) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動・・・「大戸地域」H30～ 大戸小・中学校にコーディネーターを配置し、学習支援や環境整備等を実施。 ・放課後子ども教室・・・「おおとっ子1455」大戸小 H30～ 地域住民の協力を得ながら、学習支援やスポーツ、文化活動を実施。 ・子どもたちの健やかに育まれる環境づくりに寄与するとともに、放課後子ども教室では、異学年交流を通し、仲間づくりと郷土意識を育てている。 | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの継続的な人材確保が必要である。 ・活動の様子を公民館報「大戸岳」や市ホームページ、大戸専用アプリ「おおとチャンネル」等で広く周知し、地域の理解をより一層深める。 ・地域学校協働活動推進員の発掘や育成、ボランティアの募集などを地域まちづくり組織「NPO法人大戸まちづくり協議会」と連携・協力を図りながら、主体的に関わる人材の確保を進めていく。 | | | | |

| | | | | | |
|-----------------------------------|--|--|----------------|---------------|----------------|
| 10 | 事業名 | 一箕公民館地域学校協働本部事業 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会 一箕公民館 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 地域と連携し、子どもたちの教育活動を支援する地域学校協働活動を推進して、放課後子ども教室を実施する。地域の方々との触れ合いや体験学習を通して、子どもたちが心豊かに健やかに育まれる環境づくりに取り組む。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 1,032 | 1,032 |
| | | | 所要一般財源 | 0 | 0 |
| 概算人件費 | | | 1,592 | 1,592 | |
| これまでの取組状況 (主な取組と成果) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動……「一箕中学校区」R2～ ・放課後子ども教室……「まつながっ子1455」松長小 R元～ ・主体的に学校を支援しようとボランティア活動に参加する方が増えており、学校・家庭・地域を結ぶ学びの好循環が生まれている。 | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の趣旨を学校に十分に理解してもらいながら、支援ニーズを的確に把握するとともに、地域学校協働活動推進員やボランティア等に多様な住民の参画を促す必要がある。 ・地域学校協働活動推進員の育成や、ボランティアの募集など、主体的に関わる人材の確保を行い、今後も「学校を核とした地域づくり」を推進していく。 | | | | |
| 11 | 事業名 | 東公民館地域学校協働本部事業 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会 東公民館 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 地域と連携し、子どもたちの教育活動を支援する地域学校協働活動を推進して、放課後子ども教室を実施する。地域の方々との触れ合いや体験学習を通して、子どもたちが心豊かに健やかに育まれる環境づくりに取り組む。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 995 | 995 |
| | | | 所要一般財源 | 0 | 0 |
| 概算人件費 | | | 455 | 455 | |
| これまでの取組状況 (主な取組と成果) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動・・・R3～ 第二中学校区で活動を開始し、地域と学校の連携に取組み、地域ボランティアの授業支援などの効果が出ている。 ・放課後子ども教室・・・H24～ 地域ボランティアの参画を受けながら子どもの居場所作り取組み、多くの児童が参加している。 ・放課後子ども教室では、学年の枠を超えた交流と地域の方々と触れ合う機会を提供できている。 | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの人材確保が課題となることを認識している。 ・地域の中で子どもを育む活動の様子を広報して人材の確保に努めていく。 | | | | |
| 12 | 事業名 | 湊公民館地域学校協働本部事業 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会 湊公民館 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 地域と連携し、子どもたちの教育活動を支援する地域学校協働活動を推進して、放課後子ども教室を実施する。地域の方々との触れ合いや体験学習を通して、子どもたちが心豊かに健やかに育まれる環境づくりに取り組む。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 533 | 533 |
| | | | 所要一般財源 | 0 | 0 |
| 概算人件費 | | | 1,365 | 1,365 | |
| これまでの取組状況 (主な取組と成果) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動・・・「湊地域」H28～ 湊学園の環境整備や授業の支援を実施している。 ・放課後子ども教室・・・「みなとっ子1455」H30～ 湊学園の1～3年生を対象として開設し、ほとんどの対象児童が登録し活動している。 ・活動が高齢者にとっての「生きがい」につながっているほか、放課後子ども教室では、地域の方々との触れ合いの機会を提供できている。 | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの地域住民等の参画と事業継続に向けた取組が必要である。 ・地域の中で子どもを育む取組として活動の様子を広く広報し、さらなる体制の充実を目指す、地域内人材の確保に努めていく。 ・令和6年度より放課後子ども教室の活動時間が短縮となり、授業終了後直ちに活動出来るよう事業関係者間の協力体制を強化し、短時間で密度の濃い内容とする。 | | | | |

| | | | | | |
|-----------------------------------|--|---|----------------|---------------|----------------|
| 13 | 事業名 | 北会津公民館地域学校協働本部事業 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会 北会津公民館 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 地域と連携し、子どもたちの教育活動を支援する地域学校協働活動を推進して、放課後子ども教室を実施する。地域の方々と触れ合いや体験学習を通して、子どもたちが心豊かに健やかに育まれる環境づくりに取り組む。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 875 | 875 |
| | | | 所要一般財源 | 0 | 0 |
| 概算人件費 | | | 992 | 992 | |
| これまでの取組状況 (主な取組と成果) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動・・・「北会津中学校区」R3～ ・放課後子ども教室・・・「あらたてわんぱく遊び隊」荒館小 R元～ 「かわなみわんぱく遊び隊」川南小 R2～ ・地域ボランティアの協力を得ながら様々な体験活動を実施し、学年の枠を超えた交流と地域の方々と触れ合う機会を提供している。 | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの地域住民等の参画と事業継続に向けた取組が必要である。 ・地域の中で公民館だより等により、子どもを育む取組として活動の様子を広報し、主体的に参画いただける人材を確保していく。 ・コーディネーターと公民館職員、地域連携担当教員で情報共有を行い、学校ニーズと地域の思い等を反映しやすい体制づくりを行う。 | | | | |
| 14 | 事業名 | 河東公民館地域学校協働本部事業 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会 河東公民館 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 地域と連携し、子どもたちの教育活動を支援する地域学校協働活動を推進して、放課後子ども教室を実施する。地域の方々と触れ合いや体験学習を通して、子どもたちが心豊かに健やかに育まれる環境づくりに取り組む。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 817 | 968 |
| | | | 所要一般財源 | 0 | 0 |
| 概算人件費 | | | 2,139 | 2,139 | |
| これまでの取組状況 (主な取組と成果) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動……「河東学園地域」R2～ 地域ボランティアや各種団体等による授業支援等が精力的に実施されてきた。 ・放課後子ども教室……「学園キッズクラブ」河東学園 H19～ 子どもたちの安全、安心な活動場所を確保しながら様々な体験・学習の機会を提供してきた。 ・地域住民による学校支援活動の広がりにより、様々な体験活動や授業支援をととして子どもたちの学びや成長を支えることができた。 | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会と連携を図りながら、河東学園のニーズや課題を共有して、地域学校協働活動の内容の充実を図る必要がある。 ・地域とともに歩む学校を目指す義務教育学校河東学園と連携しながら、年間を通して学校活動を支援できる体制を維持していく。 | | | | |
| 15 | 事業名 | 子ども読書活動推進事業 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会 生涯学習総合センター | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 「言語の力」を使って、子どもたちの思考力・判断力・表現力等を育み、優れた人材を育成するため読書活動事業を実施するとともに、ボランティアとの協働による乳幼児期からの読み聞かせを通して、豊かな心を育む。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 3,165 | 3,516 |
| | | | 所要一般財源 | 3,165 | 3,516 |
| 概算人件費 | | | 35,149 | 35,149 | |
| これまでの取組状況 (主な取組と成果) | <ul style="list-style-type: none"> ・現在の「第三次市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭・学校・地域が連携して、小学生を対象とした「会津図書館を使った調べる学習コンクール」や中高生を対象とした「会津ビブリオバトル」の開催、健康福祉部と連携したブックスタート事業に取り組んでいる。 ・子どもたちの年齢に応じた、読書環境の整備と読書活動を推進している。 | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとの協働による事業活動の継続と、読み聞かせボランティアの人材確保に努めていく。 ・支援を必要とする子どもたちに対して、本への興味・関心を引き出し、読書習慣が定着するよう、家庭や学校等で子どもの読書活動を推進していく。 ・「第三次計画」に基づき、子どもの読書活動の推進及び図書館事業の充実を図るとともに、次期計画にかかるアンケート調査を行い、策定の準備を進めていく。 | | | | |

施策2 青少年の健全育成

| | | | | | |
|-----------------------------------|--|---|----------------|---------------|----------------|
| 1 | 事業名 | 青少年の心を育てる市民行動プラン事業費 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会・教育総務課あいづっこ育成推進室 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | “あいづっこ宣言”の周知・啓発を図るとともに、推進母体である青少年育成市民会議の活動を支援していく。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 593 | 663 |
| | | | 所要一般財源 | 593 | 663 |
| 概算人件費 | | | 5,419 | 5,419 | |
| これまでの取組状況 (主な取組と成果) | 平成14年2月に“あいづっこ宣言”を策定し、家庭、学校、地域、企業及び青少年育成に関する団体と連携しながら宣言の普及に取り組んできた。宣言の推進母体である青少年育成市民会議では朝のあいさつ運動をはじめ、各地区の実情に応じた様々な活動を主体的に実施してきた。 平成23年度には10周年記念事業、令和3年度には20周年を記念した式典や動画作成等の記念事業により効果的な啓発事業を実施し、青少年の健全育成に寄与した。 | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | “あいづっこ宣言”の更なる周知・啓発を図るために、青少年育成市民会議を中心に地域の実情に即した事業を展開していくとともに、学校を通じた児童・生徒の宣言の理解促進と実践化を図っていく。 また、大人へのより一層の普及促進が課題となっていることから、引き続き民間企業へ協力を依頼し、普及啓発を進めていく。 | | | | |
| 2 | 事業名 | 少年センター運営費 | 法定／自主 | 法定 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会・教育総務課あいづっこ育成推進室 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 少年センターは、少年の非行防止という目的を達成するため、非行防止等に関する総合的な実践活動を推進するための拠点として、少年センター補導員による「愛の一声」等の街頭補導や社会環境浄化活動等とおして、少年の非行防止や青少年の健全育成活動を進めている。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 3,034 | 3,034 |
| | | | 所要一般財源 | 3,034 | 3,034 |
| 概算人件費 | | | 3,744 | 3,744 | |
| これまでの取組状況 (主な取組と成果) | 少年センター補導員による補導活動として、令和5年度には「あたたかい愛の一声心のかけ橋」のスローガンを掲げ、青少年のみならず巡回する店舗等においても積極的な声かけをし、問題の早期発見・改善に努めた。公用車による「あいづっこ青色パトロール」では郊外型大型店や危険個所を効果的に巡回する補導を行った。市の情報配信メール「あいべあ」を活用した不審者情報等の提供により犯罪被害防止に努めるとともに、各種研修会の開催により、補導員の意識と資質の向上にも取り組んだ。 | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | 令和5年の本市の少年補導の状況について、検挙・補導人数は、前年より減少している。検挙の罪種としては万引きが最も多く、犯罪の低年齢化も問題となっており、補導の不良行為としては、喫煙が最も多かったことから、販売店へ陳列方法の指導や年齢確認徹底の依頼を行い改善が図られている。今後も関係機関との連携を図り、問題行動の多い地域や時間帯に合わせたパトロールの実施や補導員への情報提供等により、効果的な「見せる補導活動」を実施し、少年非行と犯罪被害の防止を図る。 | | | | |
| 3 | 事業名 | 青少年健全育成事業 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会・教育総務課あいづっこ育成推進室 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | 心豊かで、創造性にあふれ、自分自身を大切にするとともに、社会規範を守り、他者の立場に立って考え、行動できる青少年を育成する。家庭、学校、地域および「子ども会育成会」や「青少年育成市民会議」等の関係団体等と協働、連携して青少年の健全育成を図る。 | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 6,059 | 6,105 |
| | | | 所要一般財源 | 6,059 | 6,105 |
| 概算人件費 | | | 5,419 | 5,419 | |
| これまでの取組状況 (主な取組と成果) | 「青少年育成市民会議」や「子ども会育成会」等の青少年関係団体の活性化を図りながら、少年の主張や指導児講習会等の事業を協働で実施し、青少年の健全育成を推進している。 自主性や自立性を持った心豊かな子どもを育成するため、市子ども会育成会連絡協議会との連携により、中高生のジュニアリーダーを育成(平成26年度～)している。 | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | 青少年を取り巻く環境が一層複雑化・多様化する中、家庭、学校、地域、企業、青少年関係団体などとの連携を強化し、地域全体で青少年の健全育成を推進する。 子ども会加入者の減少とともに休止する子ども会の増加、加えて育成会等の担い手不足も課題となっていることから、子ども会育成会連絡協議会と連携を図り、さらに魅力ある事業の実施と効果的な周知を行い、子ども会加入者の確保と育成会等の組織の活性化を図り、自主的な活動の支援を継続していく。 | | | | |

| | | | | | |
|-----------------------------------|---|--|----------------|---------------|----------------|
| 4 | 事業名 | 成人祝賀事業費 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会・教育総務課あいづっこ育成推進室 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | <p>令和4年4月には民法の一部改正により成年年齢が18歳に引き下げられたが、本市においては引き続き20歳を対象に式典「はたちのつどい」を実施する。18歳新成人については、お祝いや記念となる事業の実施を通して、成人となった自覚を促していく。</p> | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 2,674 | 3,389 |
| | | | 所要一般財源 | 2,674 | 3,389 |
| 概算人件費 | | | 3,107 | 3,107 | |
| これまでの 取組状況 (主な取組と 成果) | <p>式典については、大人になったことの自覚を促し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ますことを意図して開催してきた。20歳という大きな節目で、地元の友人との再会や家族との時間を共有することで、あらためて郷土について考える契機となっている。</p> <p>令和4年度からは18歳到達者を対象として、メッセージカードの送付やフォトスポットの設置により成人のお祝いと啓発に取り組んだ。</p> | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | <p>人生の大きな節目である20歳の若者が地元の良さをあらためて認識する機会とするとともに、参加者にとって、さらに意義深く心に残る式典となるよう検討していく。</p> <p>18歳成人に対しては、お祝いと自覚を促す取組を継続して実施していく。</p> | | | | |
| 5 | 事業名 | 少年の家維持管理費 | 法定／自主 | 自主 | |
| | 担当部・課 | 教育委員会・教育総務課あいづっこ育成推進室 | 次年度方針 | 継続 | |
| | 概要 (目的と内容) | <p>少年の健全な心身の育成を図るための宿泊施設として設置。</p> <p>施設の管理及び使用許可は市で行い、利用者が自主的に利用している。</p> | 財務内容 単位(千円) | 令和6年度 (予算) | 令和7年度 (見込み) |
| | | | 事業費 | 603 | 5,063 |
| | | | 所要一般財源 | 603 | 5,063 |
| 概算人件費 | | | 232 | 232 | |
| これまでの 取組状況 (主な取組と 成果) | <p>体験学習活動等の場の提供により多彩な学習経験を通して青少年の健全育成を推進している。</p> <p>青少年育成団体や子ども会等において、多様な体験活動を通じた子どもたちの育成や成長の場として利用されており、学校外において重要な青少年活動施設となっている。</p> <p>学校教育課が主催する「適応指導教室」の実施場所としても利用されている。</p> | | | | |
| 事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点) | <p>建設から50年以上が経過し老朽化が進んでおり、施設の状況に応じた適切な改修等が求められている。</p> <p>今後も必要な修繕等を加えながら、可能な限り現在の施設を維持管理していく。特に玄関については、現状鍵が閉まりにくいことから枠と引き戸一式の取替工事が必要であり、さらには照明のLED化についても進めていく。</p> | | | | |